

ハンズ・オン! — 輪島塗のわざ —



さわって楽しい、
わじまぬり



同時開催
アジアの漆芸
展示室3

2018年

12 / 14
[金]

年末休館
12月29日(土)
~31日(月)

2019年

1 / 14
[月・祝]

主催 石川県輪島漆芸美術館
 共催 輪島塗技術保存会
 後援 石川県・輪島市・輪島漆器商工業協同組合
 会場 石川県輪島漆芸美術館 展示室1・2
 開館時間 9:00~17:00(入館は閉館の30分前まで)
 入館料 一般 620(510)円
 高大学生 310(210)円
 小中学生 150(100)円
 *()内は20名以上の団体料金



ハンズ・オン! — 輪島塗のわざ —



2018年

12 / 14
[金]

年末休館
12月29日(土)
~31日(月)

2019年

1 / 14
[月・祝]

毎週日曜日13:30から
展示室にて学芸員が解説を
行います!

〈開催日程〉

12月16日・12月23日
2019年1月6日・1月13日



(写真上から)
日月蕎麦文沈金椀
更紗彫胴張二段重
秋月野景図蒔絵硯箱
(いずれも輪島塗技術保存会作・所蔵)

※上記作品は触ることができません。
予めご了承ください。



堅牢優美と称される輪島塗は1977年に国の重要無形文化財に指定され、輪島塗技術保存会がその保持団体として認定を受けています。本展覧会では、伝統の技を現在に伝える輪島塗技術保存会歴代会員の作品や20年以上にわたって実施してきた伝承者養成事業の研修成果作品を中心にをご紹介します。また、会場では木地・沈金・蒔絵の工程見本など実際に手で触れることのできる資料を展示します。この機会に研ぎ澄まされた熟練の技をどうぞ肌で体感してください。

同時開催

アジアの漆芸

東アジアには、日本の漆文化と同じく樹液を塗装する文化があり、日用品の製作や装飾に利用されてきました。しかし、器物の形、色彩、成形方法や加飾技法などは国や地域による特徴があり、普段見慣れている日本の漆器とは大きく異なっています。本展覧会では、タイ、ミャンマー、中国、韓国等の特色あふれる漆芸品を国別に展示し、アジアに広がる樹液塗装文化をご紹介します。

(写真左下から時計回り)
箱絵鳥形合子(タイ・20世紀)
十二月文菊罇箱(ミャンマー・1984年)
箱絵蛙形合子(タイ・20世紀)
箱絵蛙形合子(タイ・20世紀)
螺鈿九折盤(韓国・1985年・沈富吉)
箱絵鳥形合子(タイ・20世紀)



イベント情報

坂下奈美 切り絵アート展 12月14日(金)~24日(月・振休) 会場: エントランスホール

WAJIMA MUSEUM OF URUSHI ART 石川県輪島漆芸美術館

〒928-0063 石川県輪島市水守町四十初11番地
TEL 0768-22-9788 FAX 0768-22-9789
URL <http://www.city.wajima.ishikawa.jp/art/>

■交通案内 飛行機: 羽田空港→約60分→のと里山空港→車→約20分→漆芸美術館

車: 金沢市内→のと里山海道利用→約100分→漆芸美術館

(自家用車・大型バス駐車場有(無料))

バス: 金沢駅→北鉄奥能登バス輪島特急→約120分→道の駅・輪島ふらっと訪夢

乗換え→のらんげバス 海コース→約10分→漆芸美術館 下車

徒歩: 道の駅・輪島ふらっと訪夢「輪島駅前」→約15分→漆芸美術館

本券1枚につき8名様まで
団体料金で入館できます。
割引券